



第77期
中間報告書

平成27年1月1日から
平成27年6月30日まで

キヤノン電子株式会社

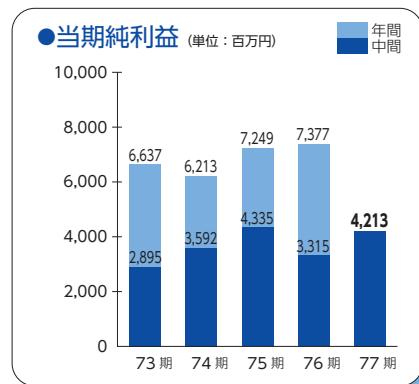
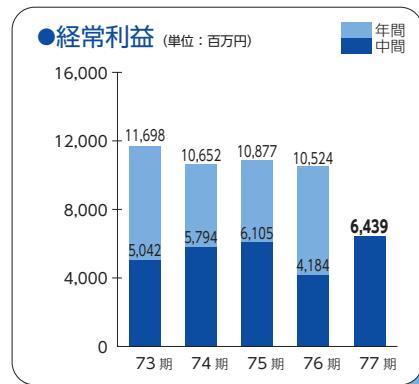
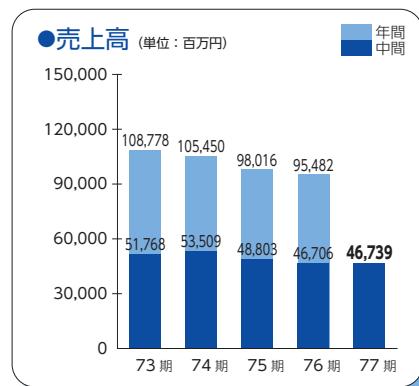
第77期中間報告書

平成27年1月1日から平成27年6月30日まで

CONTENTS

| | |
|-------------|-----|
| 財務ハイライト（連結） | 1 |
| ごあいさつ | 2 |
| 事業の部門別状況 | 3 |
| 連結財務諸表 | 5 |
| 会社の概況 | 6 |
| 株式のご案内 | 裏表紙 |

財務ハイライト（連結）



経営方針

企業品質向上を目指して
社会人として思いやりを持った人格の形成
世界から尊敬と信頼を受ける企業と人

株主のみなさまへ

株主のみなさまには、平素から格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

第77期中間期（平成27年1月1日から平成27年6月30日まで）のご報告にあたり、ごあいさつ申し上げます。

当中間期の世界経済は、アジア諸国においては景気の拡大テンポが緩やかになってきたものの、米国では着実に景気が回復しており、欧州でも持ち直しの動きが続きました。国内経済においては個人消費や設備投資、生産に持ち直しの動きがみられるなど、景気は緩やかな回復基調が続きました。為替は、前年同期に比べ米ドルは円安、ユーロは円高傾向で推移しました。

このような中で当社グループは、シャッターユニットやドキュメントスキャナー、ハッカーによる標的型攻撃から企業の情報資産を守るセキュリティソフト「SML セキュリティスイート」「SML セキュリティスイート with FFR yarai」等の積極的な販売活動を展開しました。小型電動射出成形機については、自動車業界や医療業界など、新たな業界への導入が進んでいます。また、世界トップレベルの高収益企業を目指し、全社を挙げた生産性向上活動、3R（リデュース・リユース・リサイクル）環境活動を全社員で強力に推進してまいりました。さらに、経営全般にわたるムダ排除に徹底的に取り組み、利益体質の維持向上に注力しました。こうした取り組みの結果、当中間期の連結売上高は467億39百万円（前年同期比0.1%増）、連結

経常利益は64億39百万円（同53.9%増）、連結純利益は42億13百万円（同27.1%増）となりました。

中間配当金につきましては、株主のみなさまの日頃のご支援にお応えするために1株につき30円とし、お支払い開始日を8月26日といたしました。

今後も高機能、高品質、低コストな商品・サービスを展開し、成長分野への参入を果たし新たなビジネスを創出してまいります。また、強固な企業体質を実現するため、全社員の力を結集し徹底的なムダ排除、更なる生産性の向上、売上の拡大に取り組んでいく所存です。

株主のみなさまにおかれましては、今後ともより一層のご支援ご鞭撻を賜りますよう心からお願い申し上げます。

平成27年8月

代表取締役社長

酒 巻 久



コンポーネント部門

デジタルカメラ市場は、レンズ交換式タイプ、コンパクトタイプとも、スマートフォンの普及等の影響により、厳しい市場環境となっています。このような中で当社は、主力製品であるデジタルカメラ用シャッターユニットや絞りユニット、防振ユニット等の積極的な受注活動を展開してきました。これらの取り組みの結果、デジタルカメラ市場がマイナス成長の状況下ではありましたが、業績は堅調に推移しました。



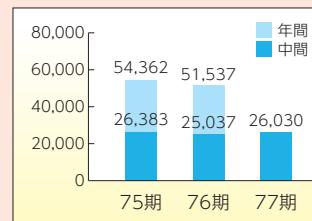
レンズ交換式デジタルカメラ用
シャッターユニット

レーザープリンターおよび複合機用のレーザーสキャナーユニットは、今期立ち上げた新製品の販売数増加等により、また、生産性の向上、構成部品の内製化等、生産体制の更なる強化を推し進めると共に、引き続き原価低減に取り組んでまいりました。これらの取り組みの結果、売上が増加しました。

当部門の連結売上高は260億30百万円（前年同期比4.0%増）となりました。

売上高

(単位：百万円)



電子情報機器部門

ドキュメントスキャナー市場は、特にインドや中東・中南米地域などの新興国市場における文書の電子化需要の増加により市場が拡大しています。このような中、ドキュメントスキャナーimageFORMULA（イメージフォーミュラ）シリーズは、昨年発売した新製品を中心にラインアップを一層充実させて拡販活動を展開しました。その結果、ドイツ・イタリア等の欧州市場やインド・トルコ・中東地域では販売が伸びたものの、最大市場である米国向けの販売が競争の激化などにより落ち込んだことなどから、売上は減少しました。



2015年5月発売の新製品
imageFORMULA DR-C240

なお、5月にはクラストップレベルの原稿分離・搬送性能を持ち、スタイリッシュなデザインの新製品「DR-C240」の販売を開始し、昨年に発売した新製品7機種とともに、より一層の売上拡大を図っています。

売上高

(単位：百万円)



ハンディターミナル市場は、スマートフォンやタブレット端末の業務用途での使用増加により、新たなビジネスチャンスが広がりとつあります。このような中、大画面PDA端末を運輸業界に、グリップ型端末を製造業界に拡販し大型商談を受注するなど、積極的な販売活動を展開しましたが、厳しい状況で推移しました。今後は当社が得意としてきたプリンター一体型端末の他にも、自動認識技術や決済機能を搭載する端末を開発するなど、スマートフォンやタブレット端末との差別化を図り、魅力ある製品の開発を追求していきます。

レーザープリンターは、新製品の量産立ち上げ、効率的な部品調達や生産性の向上、市場の動向に応じた対応等、生産体制の更なる拡充に取り組み、生産台数ならびに売上が増加しました。

当部門の連結売上高は162億7百万円（前年同期比1.6%減）となりました。



プレアGT-3

その他の部門

その他の部門では、情報関連事業は、情報セキュリティ対策ソフト（SML）、業務分析サービス（ログマネジメント）、名刺管理サービス（アルテマブルー）、医療機関向けパッケージソフト（医用辞書）等の受注活動を積極的に展開しました。特に、ハッカーの標的型攻撃から企業の情報資産を守る「SML セキュリティスイート」「SML セキュリティスイート with FFR yarai」の新規商談が増加しました。

また、サーバーやネットワークの構築等、インフラ関連やシステム開発・保守・運用案件の獲得に努めるとともに、自治体向けコンテンツマネジメントシステム「じち丸」等の新製品の販売にも注力しました。

環境機器事業は、小型電動射出成形機「LS300/LS-300i」、小型三次元加工機「MF-150A」および業務用生ごみ処理機「Land care16 II」、昨年11月に発売した小型電動射出成形機「LS-715」を主力商品として、積極的な販売活動を展開しました。

特に、接着剤の射出成形により製品の防水・防塵加工を可能にした小型電動射出成形機は、自動車業界や医療業界などからの引き合いが増加しています。また、業務用生ごみ処理機は、他社との協働や地方自治体などへの導入が始まるなど、様々な展開を見せています。

これらの取り組みの結果、当部門の連結売上高は45億1百万円（前年同期比13.4%減）となりました。

売上高 (単位：百万円)



標的型攻撃時代のトータルセキュリティソリューション

SML with yarai
セキュリティスイート

自治体・行政機関向け専用サービス

じち丸
CMS for SaaS



小型電動射出成形機「LS-715」

会社の概況 (平成27年6月30日現在)

■ 主要な事業内容

| 部 門 | 主 要 製 品 |
|-----------|---|
| コンポーネント部門 | シャッターユニット、絞りユニット、ステッピングモーター、磁気ヘッド、磁気センサー、レーザースキャナーユニット、プリント基板実装 |
| 電子情報機器部門 | ドキュメントスキャナー、ハンディターミナル、レーザープリンター |
| その他の部門 | 情報セキュリティ対策サービス、業務分析サービス、名刺管理サービス、顧客情報管理サービス、システム開発・保守・運用、FA機器、環境関連機器、小型電動射出成形機、小型三次元加工機 |

■ 使用人の状況

| 使用人数 (連結) | 前期末比増減 | 使用人数 (単独) | 前期末比増減 |
|-----------|--------|-----------|--------|
| 4,732名 | -107名 | 1,755名 | +5名 |

■ 発行可能株式総数

60,000,000株

■ 発行済株式総数

42,206,540株

■ 株主数

15,731名

■ 大株主 (10名)

| 株 主 名 | 持 株 数 | 持 株 比 率 |
|---|----------|---------|
| キヤノン株式会社 | 22,500千株 | 55.1% |
| ピーエヌピー パリパセック サービス ルクセンブルグ ジャスデック アパディーン グローバル クライアント アセツ | 1,734 | 4.3 |
| ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー 505223 | 737 | 1.8 |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口) | 689 | 1.7 |
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口) | 619 | 1.5 |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口9) | 451 | 1.1 |
| 第一生命保険株式会社 | 414 | 1.0 |
| CBNY-GOVERNMENT OF NORWAY | 343 | 0.8 |
| メロンバンク トリーティー クライアンツ オムニバス | 293 | 0.7 |
| 株式会社みずほ銀行 | 234 | 0.6 |

注. 持株比率は、発行済株式総数から自己株式 (1,389,059株) を控除して算出しております。

■ 取締役および監査役

| 地 位 | 氏 名 |
|---------|---------|
| 代表取締役社長 | 酒 巻 久 |
| 取締役副社長 | 橋 元 健 |
| 専務取締役 | 江 原 孝 志 |
| 常務取締役 | 石 塚 巧 巧 |
| 常務取締役 | 清 水 栄 一 |
| 取 締 役 | 大 谷 一 夫 |
| 取 締 役 | 常 藤 恭 司 |
| 取 締 役 | 内 山 毅 |
| 取 締 役 | 新 井 忠 |
| 取 締 役 | 周 耀 民 |
| 取 締 役 | 高 橋 純 一 |
| 取締役(社外) | 豊 田 正 和 |
| 取締役(社外) | 内 海 勝 彦 |
| 常勤監査役 | 川 名 達 也 |
| 常勤監査役 | 黒 澤 明 |
| 監査役(社外) | 岩 村 修 二 |
| 監査役(社外) | 中 田 清 穂 |

■ 会計監査人 新日本有限責任監査法人

株式のご案内

| | |
|----------------------------|---|
| 事業年度 | 毎年1月1日から12月31日まで |
| 定時株主総会 | 毎年3月 |
| 上記基準日 | 毎年12月31日 |
| 中間配当基準日 | 毎年6月30日 |
| 期末配当基準日 | 毎年12月31日 |
| 株主名簿管理人 および 特別口座 口座管理機関 | 東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 |
| 株式事務のお問合せ先 | 住所変更、単元未満株式の買取・買増、配当金の振込指定等のお手続きは、株主様が口座を開設されている証券会社等にお問合せください。 未払い配当金のお支払い手続き、または特別口座に記録された株式に関するお手続きは、下記みずほ信託銀行にお問合せください。 〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-288-324 (フリーダイヤル) |
| 単元株式数 | 100株 |
| 公告掲載新聞 | 日本経済新聞 |
| 上場証券取引所 | 東京証券取引所市場第1部 |
| 証券コード | 7739 |



表紙写真

撮影 山岳写真家 新井靖雄氏 (秩父市在住)
昭和21年埼玉県秩父市生まれ
環境省自然保護指導員
奥秩父をテーマにした山岳写真の撮影を続けている
山岳写真集「奥秩父の四季」、
新井靖雄写真集「奥秩父」を出版

Canon キヤノン電子株式会社

本 社

〒369-1892 埼玉県秩父市下影森1248番地
電話 0494-23-3111

東京本社

〒105-0011 東京都港区芝公園三丁目5番10号
電話 03-6910-4111

インターネットホームページ

<http://www.canon-elec.co.jp/>